



三原市長
天満 祥典

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申しあげます。また、平素から市行政に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申しあげます。

本市は昨年、小早川隆景公が三原城を築城してから、450年という節目を迎えました。これをまちづくり変革の好機と捉え、一昨年2月からのプレ期間、昨年2月から11月までのメイン期間を通じ、市を挙げて瀬戸内三原築城450年事業に取り組みました。

この事業では、観光が市を支える産業の一つとなるよう、官民一体となって100を超える行事などを実施しました。三原城跡歴史公園、みはら歴史館など新たな観光スポットも生まれ、期間中は多くの観光客の方々に三原を訪れていただき、大盛況のうちに閉幕することができました。

これもひとえに、市民の皆様をはじめ、市内の事業所や学校関係の皆様のご強いご支援とご協力のたまものであり、重ねて厚くお礼申しあげます。今後は、得られた成果を存分に生かし、来る築城500年には「観光のまち三原」という大輪の花が咲いていますよう、芽吹いた新芽を大切に育てていきたいと考えています。

もちろん、本市が50年後、100年後も輝き続けるまちであるためには、市全体が「元気」であり続けることが欠かせません。活力ある将来の実現に向けて、本年も引き続き、三原市長期総合計画に掲げる「働く場づくり」「交流人口の拡大」「子ども子育ての充実」「健康づくり」「住み良さの向上」への挑戦を、市民の皆様と一丸となって続けてまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして幸せで、素晴らしい年となりますよう心からお祈り申しあげ、新年のあいさついたします。

新年のごあいさつ



三原市議会議員

仁ノ岡 範之

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。また、平素は議会活動に対して温かいご指導とご理解を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、全国的に人口減少や少子高齢化が大きな社会問題となっており、本市も例外ではありません。また、市税や普通交付税の減収が見込まれる中、新庁舎や新斎場などの建設事業費や社会保障費が増加するなど今後も厳しい財政状況が予測されます。

そうした中、人口減少に歯止めをかけ、夢と希望が描ける活力あるまちづくりを実現していくことは、喫緊の課題であり、重要なテーマです。

こうした課題の解決に向け、平成30年度には、本郷産業団地への企業誘致など働く場の創出、昨年実施した瀬戸内三原築城450年事業の成果を観光誘客につなげる取り組みや三原駅前東館跡地の活用による交流人口の拡大などの取り組みが進められます。また、子育て環境の充実を図るため、妊娠から出産、子育てへと途切れない支援の充実・強化も進められます。

議会といたしましても、事業の推進にあたり、的確な課題の認識と建設的な議論により、市民の皆様様の福祉増進と市政の発展に寄与してまいります。そのためにも、積極的に情報を発信していくとともに、皆様様の声をしっかりと市政に反映できるよう、引き続き議会の活性化に取り組んでまいります。

今後とも市民の皆様からのご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとりまして幸せで、実り多い年となりますことを心から祈念し、新年のあいさつといたします。